



陵陽

令和7年（2025年）3月14日（金） 第13号

令和6年度 第63回卒業証書授与 卒業生お別れのことば

卒業生代表 ●● ●●

厳しい冬が明け、暖かな春の陽光に照らされる今日、私たちは、多くの方々に見守られながら、陵陽中学校を卒業します。あっという間に過ぎた三年間は、少しずつではありますが、確実に私たちを成長させてくれました。それもひとえに、支えてくださった皆様のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、この陵陽中学校での思い出を振り返った時、頭には何が浮かぶのでしょうか。クラスメイトと過ごした昼休み。大会に向けて練習した部活動。些細な喧嘩から叱られてしまったこと。また、修学旅行や学校祭などの行事を思い出す人もいるかもしれません。皆さんと作り上げたたくさんの思い出を、これから先の自分を支えられるように、大切に、大切に胸の中にしまっておきたいと思います。

私たちは、先生方のことを心から尊敬しています。大好きな先生方の授業を受けられないと考えると、悲しくてたまりません。ですが、三年間いつもそばで支えていただいた経験は、一生忘れられない、かけがえのないものになると信じています。教え子の名に恥じることはないよう、これからも精進して参ります。初めての進路選択に迷う私たちを、一人一人が望む将来へ導いていただき、本当にありがとうございました。

次に、在校生の皆さん。ひたむきに努力をし続け、いつも笑顔のみなさんに慕われる日々は、学校生活を豊かなものにしてくれました。最高学年として後輩に示す姿を常に模索してきましたが、後輩の皆さんから学ぶことも多くありました。これからも皆さんの個性を大切に、私たちのいない陵陽中学校を、自らの誇りにできる学校にしてください。

そして、今日まで育ててくれた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。泣き虫だった小学生の頃から、一步一步着実に成長できたのは、皆さまの支えがあったからこそでした。学校であった良いことも、悪いことも、一番に伝えたかったのは、いつもそばにいてくれた家族でした。心が乱れて上手く伝えられず、ぎくしゃくしてしまうこともありました。今となってはそれもよい思い出です。産んでくれて、そして育ててくれて本当にありがとうございました。これから、さらに成長を続ける私たちを、どうか優しく見守っていただければ幸いです。

今日が、この仲間たちと過ごす最後の日となりました。これからは、この校舎に響く挨拶に、私たちの声が重なることはありません。ですが、この寂しさに負けることなく、前を向き、新たな道を歩んでいきたいと思っています。最後になりましたが、この陵陽中学校のさらなる発展を願い、お別れの言葉とさせていただきます。

在校生お祝いのことば

在校生代表 ●● ●●

寒さの中にも春の兆しを感じられるようになりました。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日という日を迎えるまでの皆さんの道のりは、決して楽なものではなかったと思います。数えきれないほどの努力や挑戦、そして時には挫折もあったことでしょう。そのすべてを乗り越えて、今、皆さんはここにいらっしゃいます。この瞬間を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

皆さんには、部活動や委員会などの場で、様々なことを優しくご指導いただき、そして時には共に笑い合って過ごさせていただきました。そんな時間はあっという間に過ぎていき、いつしか私達のかげがえのない宝物になりました。

皆さんの凄さを一番感じたのは、その歌声でした。学校祭での合唱は、最高学年としての威厳を見せるかのような、とても素晴らしい発表であり、始業式などでの校歌も私達下級生を引っ張っていくような歌声で、皆さんの歌っている姿に私達は憧れを抱いていました。その姿、そして陵陽文化である「合唱」を、今後は私達が引き継いでいきます。今日の合唱も、皆さんとの思い出を噛みしめながら練習してきました。この後私達が歌う「旅立ちの日に」を聞いて、その思いが少しでも伝われば幸いです。

皆さんは九年間の義務教育を終え、この後それぞれの道を歩まれます。その道がどのようなものなのか、私たちに想像もできません。しかし、これまで多くの苦難を経験して来られた皆さんなら、必ず乗り越えられると信じています。

皆さんがこの学校を去られることは、私たちにとって寂しいことでもあります。しかし同時に、私たちにとっても希望の光です。私達はその光を応援しながら追いかけて、皆さんのようになれるよう努力していこうと思います。

三年生の皆さんが健康で、輝かしい未来を送られることを心から祈っています。改めまして、本日はご卒業おめでとうございます。そして今までありがとうございました。

令和6年度 第63回同窓会入会式を終えて

3月10日（月）に同窓会長の中川信治様（第1期生）をお迎えし、同窓会入会式が行われました。この62年間に約13,300人がこの中学校を卒業しました。同窓会では、中川様のお話、第63期幹事の紹介、同窓会会則の説明、校歌合唱が行われました。中川様が卒業生に向けて、大切なことをお話されましたので、その一部を紹介します。

○1つ目は、「陵陽中学校の文化・伝統である挨拶を大切にしてほしい」

あいさつは世界の共通語。**あ**…明るく **い**…生き生きと **さ**…さわかに **つ**…続ける。あいさつをすることで、相手を知り、理解し、認めるきっかけになる。相手の目を見て、あいさつをしてほしい。

○2つ目は、「勉強して、日本語以外の語学を磨いてほしい」

今後は、日本に住む海外の人が増えてくる。その時に、大切なのは語学です。日本語以外の言語を修得することで、たくさんの海外の方とコミュニケーションを取ることができ、視野が広がり、人生を豊かにする。

○3つ目は、「命を大切にしてほしい」

悩んでどうしたらよいのか分からなかったら、周りの人に話すこと。誰かが助けてくれる。

○4つ目は、「いつまでも感謝の気持ちをもってほしい」

両親、友人、先生など出会ったすべての人に感謝をすること。

あなたの周りには支えてくれた人がいるはず。その人たちに感謝の気持ちを忘れないでほしい。

○5つ目は、「中学校で出会った仲間を大切にしてほしい」

中学の同級生が人生の中で、一生の友だちになることがある。

仲間を大切にしてほしい。機会があればクラス会を開催してほしい。



札幌市立陵陽中学校 〒062-0936 札幌市豊平区平岸6条11丁目1番25号

【電話】011-821-1371

【FAX】011-821-5472

ryoyo-j@sapporo-c.ed.jp